

IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(1) コンピュータシステム

①概要

当館における利用者向けのコンピュータシステムは、主に次の3つの用途が挙げられる。

- (ア) インターネットによるデータベースサービスおよびインフォメーションサービス
- (イ) 中学生を対象とした実験指導への利用（学校教育事業）
- (ウ) 一般向けの開放講座等への利用（生涯学習事業）

②インターネットによるサービス

平成8年に開設した当館のホームページは、必要な情報を随時更新できる体制を整備し、事業展開上の重要な情報媒体として機能している。

主なコンテンツは、科学館の事業を紹介するインフォメーションサービスと、各種データベースサービス〔自然史図鑑（動物、植物、化石、岩石、鉱物）、化学薬品、生物図鑑、衛星雲画像、気象観測ネットワークなど〕であり、一般の利用はもちろん、小・中学校を中心とした学校教育の場での活用を視野に入れた構成としている。

平成23年12月に科学館ホームページのトップ画面を含む修正を行った。画面は下記の通り。

スリーエム仙台市科学館
ふれる科学。ためす科学。

HOME > 科学館について > アクセス・入館料等 > 展示ガイド > イベントガイド > 団体向け案内

HOME

ご利用案内

開館時間 9:00～16:45まで
(ただし、入館は16:00まで)

休館日
毎週月曜日
(祝・休日の場合はその翌日)
祝・休日の翌日
(土・日曜日を除く)
年末年始
(12月28日～翌年の1月4日まで)
毎月第4土曜日
(12月、休日は除く)

※詳細については[休館日カレンダー](#)をご覧ください。

入館料
一般 300円 (400円)
高校生 300円 (250円)
中・小学生 200円 (100円)
(＜は30人以上の団体)

※詳細はこちら

展示

- 化学薬品
- 自然史図鑑
- 厚生生物図鑑
- ホニョウ類・ハチョウ類・衛生類図鑑

Sendoi Science Museum

●仙台市は、仙台市科学館の名称に係る施設命名権に関し、住友スリーエム株式会社と協定を締結しました。平成25年6月1日より新たな名称「スリーエム仙台市科学館」での運用を開始します。

トピックス

本日【04月02日(水)】の予定

イベント・展示名/公演名	時間	会場	備考
震災復興・国立科学博物館 防災ミュージアムin仙台「アロサウルスがやってきた！」	終日	3階エントランスホール	国立科学博物館所蔵の恐竜アロサウルスの実物全身骨格を展示します。
新展示「被災ミュージアムの再興に向けて」	終日	3階生活系展示室	震災で被災した「歌津糸電話」と「おしか小エールランド」に収録していた自然史資料を展示します。誰でも楽しめる簡単な実験や工作を体験できます。
チャレンジラボ	10:30～11:30 14:00～15:00	3階生活系展示室	ミュージアムミラを飛ばそう「ホログラムカード」

③ネットワークシステム

館内のネットワークは、展示系、実験室系、業務・管理系、に大別され、独自のファイアーウォールによってセキュリティーを確保するとともに、幹線が破断した場合に備えた二重化が図られている。また、回線速度は、1Gbps の光ファイバーを幹線とし、館内のどの端末においても100Mbps を確保している。

展示系は主に一般来館者が使用するシステムである。ここでは、来館者が顔認識システムを備えた端末を利用し、館内各所でクイズに答えていく“科学館探検”や、展示物に関する問題を集めたマークシート課題を自動採点できるシステム、独自開発のゲームプログラムなどを提供している。

主に学校教育や生涯学習事業で活用する実験室系のシステムは、4つの実験室それぞれにおけるサーバ・クライアントシステムを確立させ、複数の端末を利用する各種実験プログラムをサーバ機で一括管理できる構成としている。

その他、仙台市の教育情報ネットワーク“edu-net”にも接続している。

④館内公衆 WiFi

平成 29 年 7 月に Sendai Free WiFi を導入し来館者が無料でインターネットにアクセスできる環境を提供している。30 年の特別展「恐竜最前線」ではこの WiFi を活用してタブレット操作体験を行った。



IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(2) 気象観測ネットワーク“お天気アイ”

本事業は、平成 18 年度 J S T 地域科学館連携支援事業で採択されたもので、仙台市内の 10 の学校に気象観測装置と魚眼レンズを取り付けた Web カメラを設置し、そこから得た気温、湿度、気圧、風向・風力、降水量の 6 つの気象データと、全天の画像を科学館で集約、保存、配信するものであった。

平成 18 年 8 月から機器の設置を始め、その後の調整を経て同年 10 月からデータ収集を開始、同年 12 月から本格運用（ネット上で公開）を開始した。これに合わせ、平成 18 年 12 月から平成 19 年 3 月までは、観測機器設置校の先生方を中心に、お天気アイを利用した授業を展開していただいた。平成 23 年 3 月の東日本大震災により各設置校での観測が中断してしまったが、その後の復旧作業により 8 校での観測が可能になった。(2 校は津波により水損し復旧不可能)

機器設置から 10 年以上が経過し、観測機器の劣化にともなう動作不良や設置校におけるネットワーク環境の再編成などによりデータ収集に支障をきたしている面があり、維持管理の費用面も鑑み、平成 29 年度末をもって運用中止し、平成 30 年度は各校の観測機器の回収を行った。

IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(3) 広報

仙台市科学館では、市民への学びへの関心が高まり、また、より多くの市民が学びの活動に参加できるようにするため、科学館における各種事業などについて、市政だよりなどの広報紙やホームページ、イベント用ポスター、チラシ等、科学雑誌へのイベント情報掲載を用いて幅広く情報提供を行っている。

① 仙台市科学館ホームページ

市民に学びの機会を発信するため、科学館で開催されるイベントを市民に紹介し、参加を促すとともに、市民の科学に関する疑問を解消に導けるよう、図鑑やデータベースを科学館ホームページに掲載している。

② エントランスホール イベント案内

エントランスホールにおいて、科学館で行われる予定のイベントを掲示し、各月開催のイベントと申込締切日等、詳細内容を広く市民に紹介している。この掲示でイベントの存在を知った方も多く、イベントに参加する市民も多い。

③ その他

夏の特別展をはじめ、小企画展や大きなイベントが本年度も数多く行われ、その都度、市政だよりやフリーペーパーへの情報掲載、記者発表、当館で作成したポスターやリーフレットなどを利用して幅広く広報活動を行った。

また、テレビ、ラジオ、新聞等を通して魅力ある科学館を伝える広報活動も行った。